

おわりあさひの環境 ✿

令和3年度環境基本計画年次報告書

-令和2年度の実績と現在の進捗状況について-

【令和3年度クリーンシティ推進運動ポスター受賞作品】



市長賞

(旭小学校 川崎 楓果さん)



市議会議長賞

(東栄小学校 池田 一生さん)



市教育委員会教育長賞

(白鳳小学校 小宮 大知さん)

令和4年1月

尾張旭市 環境課



目次

I 尾張旭市環境基本計画の概要

1	計画の概要	1
2	望ましい環境像	1
3	施策の体系	1
4	計画の進行管理体制・年次報告書	2

II 令和2年度の実績と指標の状況

1	「施策」の目標に向けた「指標」の状況	3
2	「みんなの取り組み」によって進んだことがら	4

III 施策ごとの取り組み状況

1	施策ごとの取り組み状況の見方	5
2	施策ごとの取り組み状況	
	分野別目標① 学び広げるまちづくり	6
	分野別目標② ごみのないまちづくり	9
	分野別目標③ 地域で地球を考えるまちづくり	12
	分野別目標④ 自然とふれあうまちづくり	15
	分野別目標⑤ 暮らしやすい快適なまちづくり	18

I 尾張旭市環境基本計画の概要

1 計画の概要

(1) 計画の目的

本計画は、尾張旭市環境基本条例（平成16年条例第23号）に基づき、今ある環境を将来の世代に、より良くしながら継承し、誰もが健康で快適な市民生活を営むため、市、市民・市民団体、事業者が協力し、環境に配慮した総合的な取り組みを示すことを目的としています。

(2) 計画期間

長期的な視点に立って環境の保全や創出に取り組むため、平成19年度から令和5年度までの17年間に計画の期間としています。

(3) 中間見直し

本計画は、策定時からの環境や社会経済情勢の変化、そしてこれまでの進捗状況や市総合計画を始めとした上位・関連計画の内容などを踏まえ、平成26年度に施策や指標の見直しなどを行いました。

また、市総合計画の施策別計画の改定を受け、令和2年度に指標の一部を修正しました。

2 望ましい環境像

将来あるべき姿を考え、全員参加で環境の保全と創出に取り組むことのできるまちを目指し、望ましい環境像を次のように定めています。

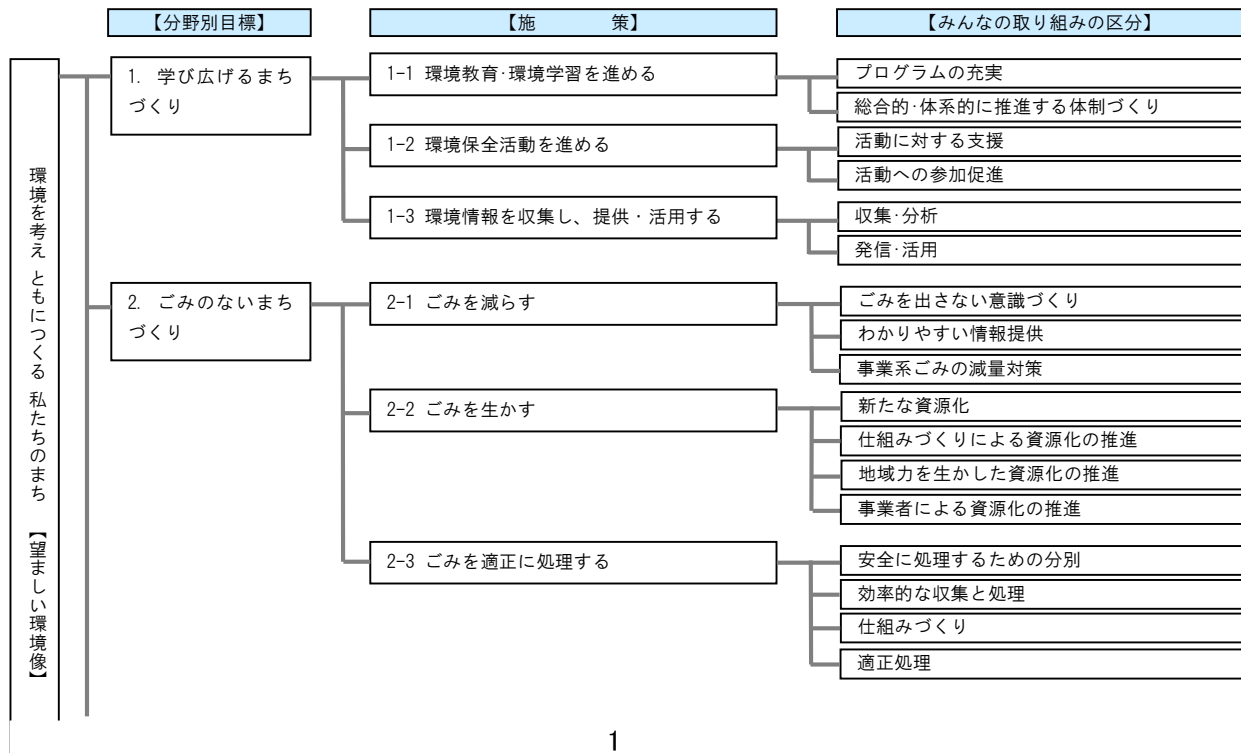
環境を考え ともにつくる 私たちのまち

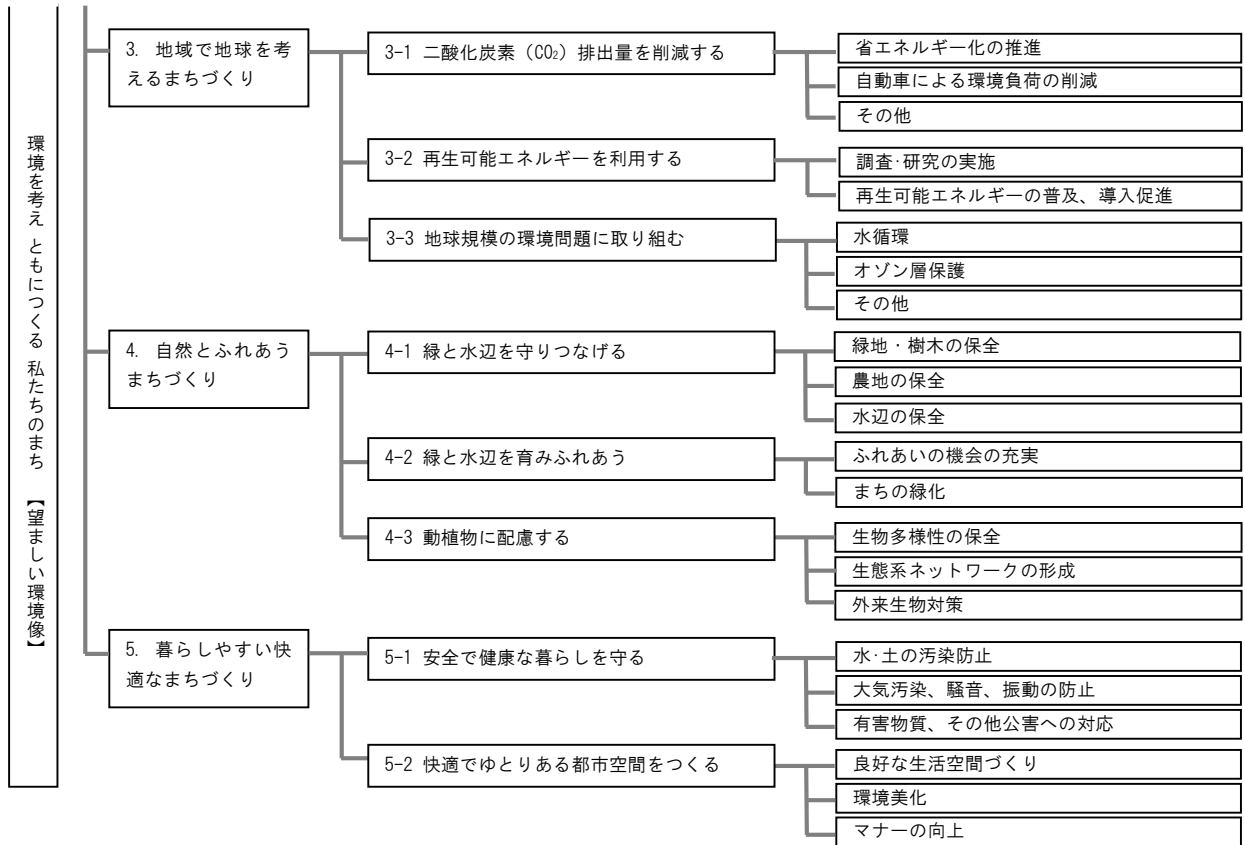
3 施策の体系

本計画では、望ましい環境像の実現に向けて、5つの「分野別目標」と14の「施策」を設定しています。また、それぞれの「施策」を実現するため、「みんな（市、市民・市民団体、事業者）の取り組み」を設定しています。

なお、平成26年度に実施した「環境基本計画の中間見直し」では、特に「ESD*の視点に基づく環境教育の推進」と「省エネルギー化・再生可能エネルギー導入の推進」、そして「生物多様性の保全」の3点に着目して、施策や指標の見直しなどを行っています。

*ESD：持続可能な開発のための教育

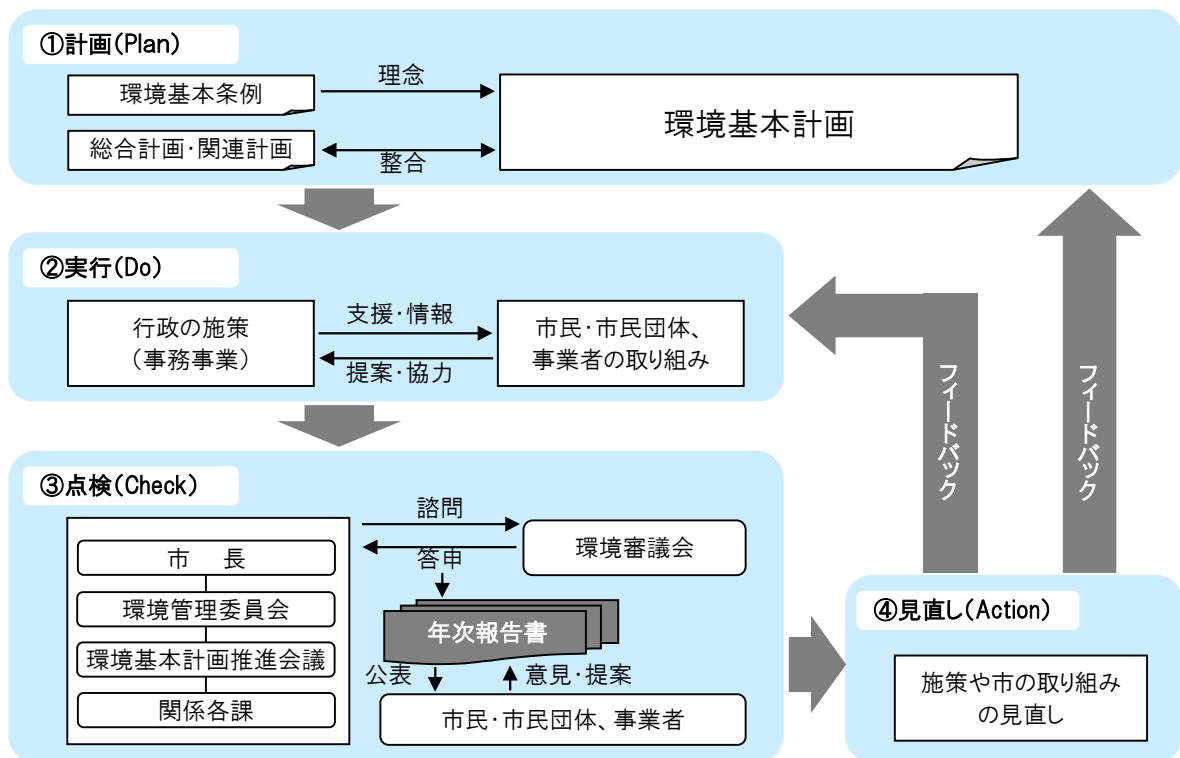




4 計画の進行管理体制・年次報告書

全ての主体が連携・協働のもと計画を着実に推進するため、次の推進体制によって進行管理を行っています。

また、市民や事業者の皆さんから頂いた御意見を、その後の施策や進行管理に生かしていくため、計画に基づく取り組み状況を毎年点検・公表し、「年次報告書」としてまとめています。



II 令和2年度の実績と指標の状況

1 「施策」の目標に向けた「指標」の状況

「みんなの取り組み」の実施によって、施策が目標へ向かっているかを見る「指標（モノサシ）」の状況（令和2年度）は、総合計画に位置付けられている施策・基本事業の成果指標の現状値を前年度実績と比較し、評価を行っています。

対前年度では、全40指標中 ○（向上）が7件（全体の17.5%）、△（横ばい）が26件（全体の65%）、×（低下）が6件（全体の15%）、実績なしが1件（全体の2.5%）となりました。

なお、長期目標値（令和5年度）の目標達成度は全40指標中○（達成）が14件（全体の35%）、－（未達成）が25件（全体の62.5%）、実績なしが1件（全体の2.5%）となりました。

対前年度の評価が○の評価の指標については関連する現在の取り組みを推し進め、△の評価の指標については関連する取り組みの改善を行い、×の評価の指標については、関連する取り組み自体を見直すなど、この結果を参考により良い環境活動へとつなげていきます。

詳細については、5ページ以降の「Ⅲ 施策ごとの取り組み状況」を御覧ください。

分野別目標	指標名	対前年度	目標達成度
①学び広げるまちづくり	環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合	△	○
	ESDユネスコスクール数	△	—
	環境を考えた行動をしている児童生徒の割合	○	—
	環境保全活動等に参加している市民団体数 ※1	○	—
	環境保全分野のボランティアをしている市民の割合 ※1	△	—
	環境に関する情報の発信機会	×	—
	河川水質調査項目数	×	○
②ごみのないまちづくり	環境保全の知識を学んでいる市民の割合	△	○
	市民一人一日あたりのごみ総量	○	—
	再使用している市民の割合	△	—
	ごみの発生抑制（リデュース）に取り組んでいる市民の割合	△	○
	リサイクル広場におけるリユース件数	×	—
	燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合	△	○
	資源化率	×	—
③地域で地球を考えるまちづくり	ごみ残置シール貼付数	○	—
	ごみ収集に関する不具合・事故件数	△	○
	地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数	△	○
	省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合	△	—
	市の施設における温室効果ガス排出量	×	○
④自然とふれあうまちづくり	再生可能エネルギーを活用している公共施設数	△	○
	環境保全を意識し、行動している市職員の割合 ※2	△	○
	公共緑地面積	△	—
	民有緑地面積	×	○
	農業振興地域における農地面積	△	○
	緑・水辺に親しめる場所があると思う市民割合	△	—
	新たに生み出された緑の箇所数	○	—
	自ら緑を育成している市民の割合	△	—
	水辺空間を利用している市民の割合	△	—
	水辺空間の満足度	△	—
⑤暮らしやすい快適なまちづくり	緑地面積	△	—
	BOD（生物化学的酸素要求量）の主要河川での改善数値	△	○
	快適な生活衛生環境だと思う市民の割合	△	○
	下水道普及率	○	—
	生活衛生環境に関する苦情の解決率	△	○
	水質を維持しているため池数	△	—
	生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合	△	—
	秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合	△	—
	都市景観に満足している市民割合	△	—
生活衛生環境の向上支援件数	○	—	
ペット・小動物に関する苦情件数	△	—	

※1は「④自然とふれあうまちづくり」の指標としても活用しています。

※2は市総合計画の施策別計画の改定により指標から削除されたため、令和元年度以降の数値取得を行いません。

2 「みんなの取り組み」によって進んだことがら

① 学び広げるまちづくり

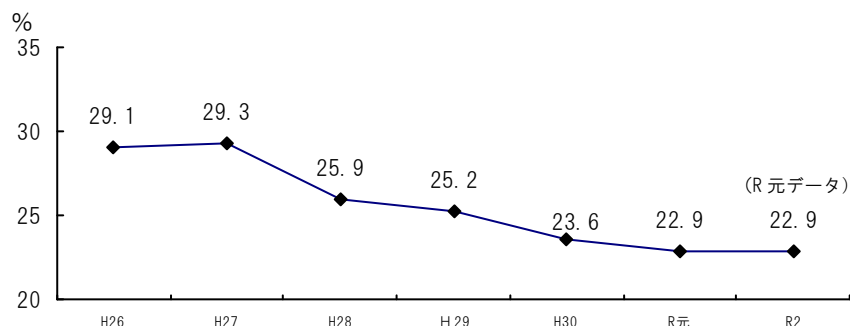
名古屋産業大学と連携してあさひエコ大学を開催し、生物多様性やSDGsについて市民の理解を深めました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年よりも定員数を制限しましたが、検温、消毒などの対策を徹底して実施しました。



② ごみのないまちづくり

燃えるごみの組成調査における資源ごみの混入率は年々減少しており、令和元年度の燃えるごみ中の資源ごみの混入率は22.9%でした（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から調査は中止）。これは、プラスチック製容器包装の毎週収集が市民に定着していることとあわせ、市民のごみ分別意識が高まり、その後も継続して周知を行ってきたことによるものと考えられ、今後より一層の進展を目指します。

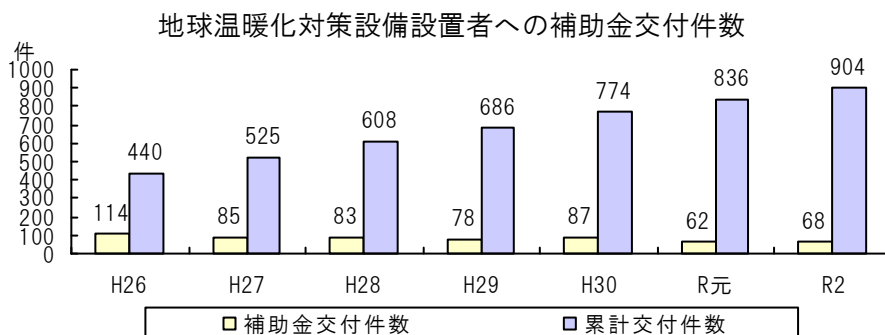


燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合

③ 地域で地球を考えるまちづくり

地球温暖化対策設備設置費補助金により、省エネ、蓄エネ、創エネ機器の設置を補助し、市民の効率的なエネルギー利用を積極的に支援しました。

太陽光発電設備だけで年間1,276トンの二酸化炭素の削減（スギの木が1年間に吸収するCO₂の量の約91,100本分相当）につながっています。



④ 自然とふれあうまちづくり

6色のLED装置「ペットボトル」を田んぼに植えてイラストを描く、田んぼイルミネーションを実施しました。

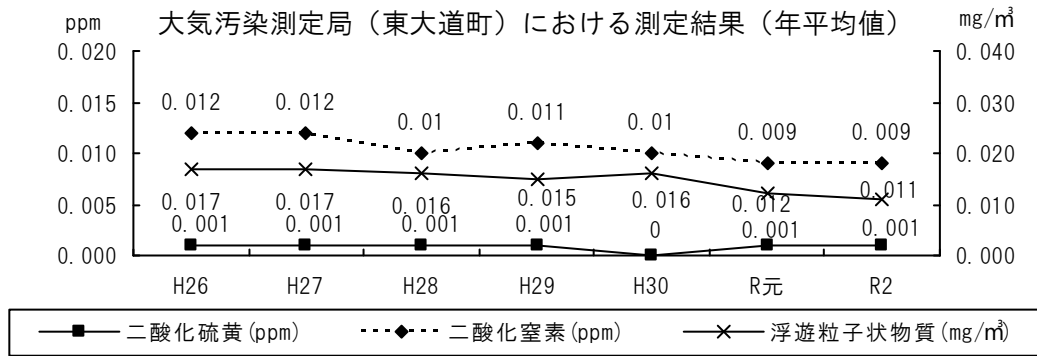
この事業は、冬にも田んぼに目を向けてもらい、農業に興味を持ってもらうことを目的に実施しています。

過去最大本数のLED装置「ペットボトル」により華やかに行い、市制50周年記念事業の令和2年度でファイナルを迎えました。



⑤ 暮らしやすい快適なまちづくり

市内の大気汚染の状況は、年々改善傾向にあつて引き続き環境基準*を達成しています。



- *環境基準
- 二酸化硫黄： 1時間値の1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下
 - ◆ 二酸化窒素： 1時間値の1日平均値が0.04から0.06ppmまでゾーン内又はそれ以下
 - × 浮遊粒子状物質： 1時間値の1日平均値が0.1mg/m³以下、かつ1時間値が0.2mg/m³以下

III 施策ごとの取り組み状況

1 施策ごとの取り組み状況の見方

6ページ以降の施策ごとの取り組み状況については、次のような形で記載しています。

① 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

令和元年度と令和2年度の指標の状況を表形式で、近年の移り変わりの状況をグラフで表しています。

なお、2年ごとに実施している「尾張旭市まちづくりアンケート」の結果を指標としている場合や、新規で設定した指標については、アンケート実施年度のものを再掲しています。

[例]

指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合	12.4%	32.8%	32.8% (R元データ)	30.0% (R元修正)	△

② 主な「みんなの取り組み」の状況

「施策」を実現するための、「みんなの取り組み」の主なものについて、令和2年度の実績と令和3年度の予定を掲載しています。

なお、市民による取り組みについては**市民**、市民団体による取り組みについては**市民団体**、事業者による取り組みは**事業者**と掲載し、それぞれ「市民が」、「市民団体が」、「事業者が」といった形で表示しています。

また、令和2年度以降に新たに実施した取り組みは文末に**(新)**と表示しています。

[例]

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
市民にとって便利なりサイクルステーションを設置します。	令和3年3月から市役所南側にリサイクルひろばクルクルを移転オープンし、資源ごみの回収を行っています。 (新)
市民 行政や市民団体の行う環境教育・環境学習への積極的な参加に努めます。	市民が、市主催の各種環境講座に参加して、関連する知識や理解を深めました。

③ 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことから

「市の取り組み」のうち、まだ手がつけられていない取り組みや、今後もっと努力や検討が必要な取り組みをピックアップし、今後へとつなげます。

2 施策ごとの取り組み状況

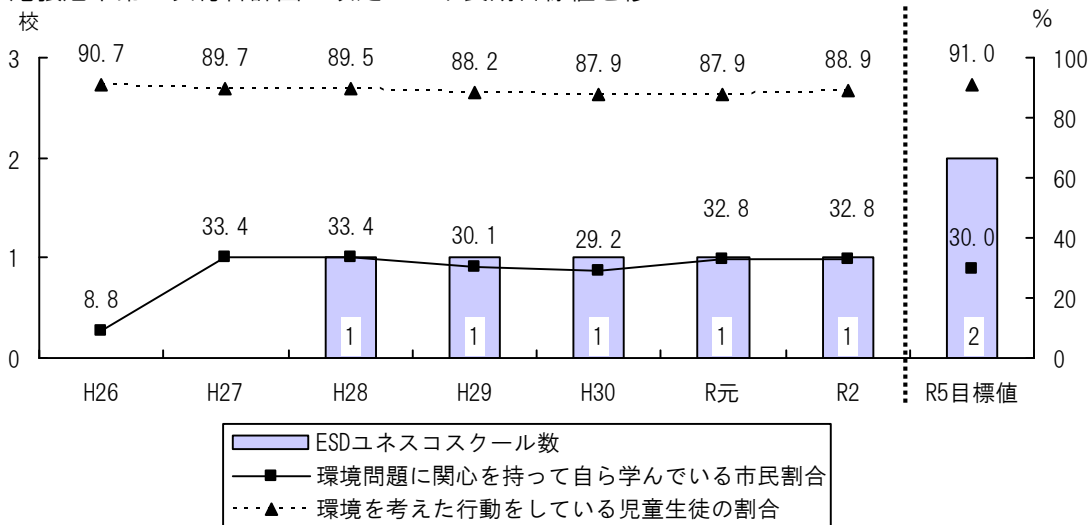
分野別目標 ①	学び広げるまちづくり
---------	------------

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

施策1-1 環境教育・環境学習を進める

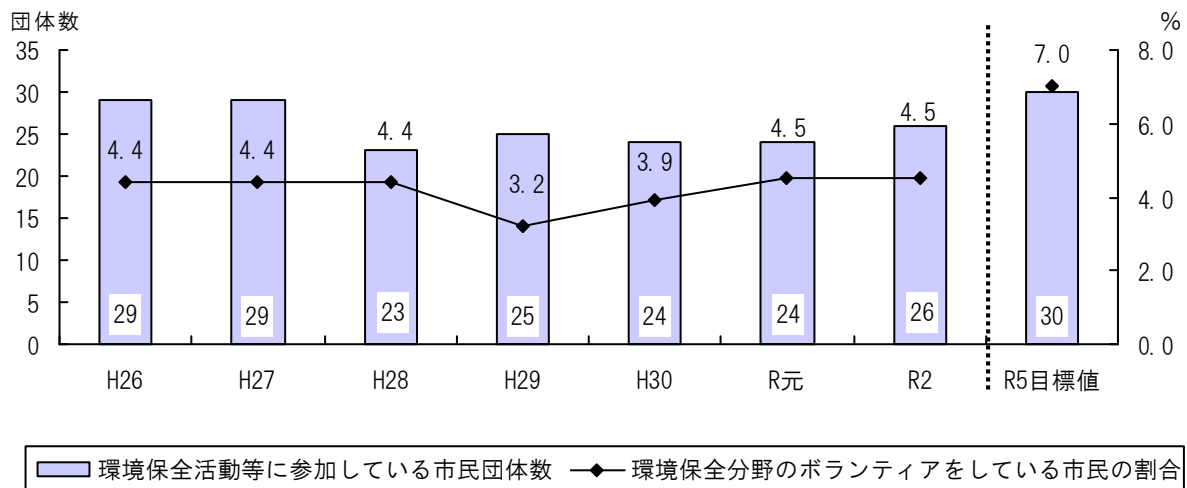
指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
ESDユネスコスクール数	0校	1校	1校	2校	△
環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合*1	12.4%	32.8%	32.8% (R元データ)	30.0% (R元修正)	△
環境を考えた行動をしている児童生徒の割合	90.7%	87.9% (H30データ)	88.9%	91.0%	○

*1 尾張旭市第五次総合計画の改定により長期目標値を修正



施策1-2 環境保全活動を進める

指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
環境保全活動等に参加している市民団体数	26団体	24団体	26団体	30団体	○
環境保全分野のボランティアをしている市民の割合	4.4%	4.5%	4.5% (R元データ)	7.0%	△

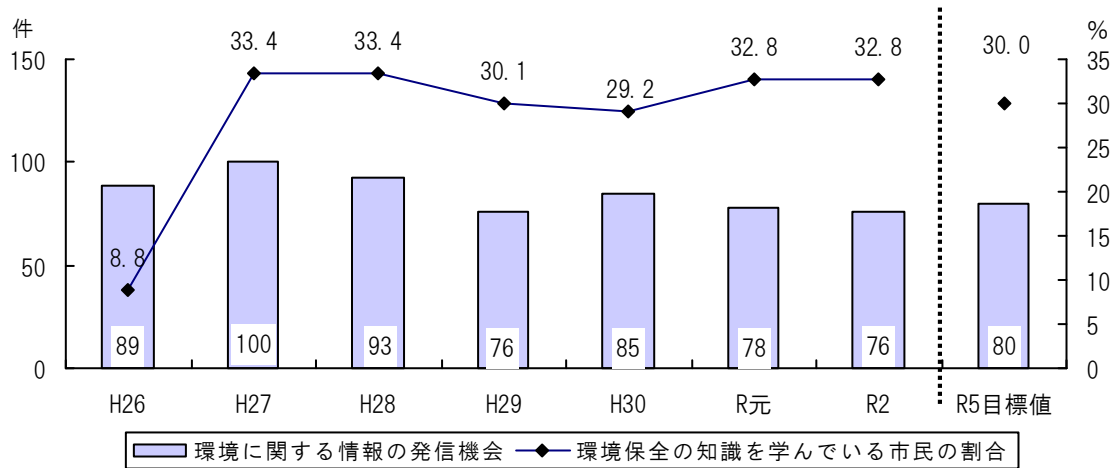


施策1-3 環境情報を収集、提供・活用する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
環境に関する情報の発信機会	75件	78件	76件	80件	×
環境保全の知識を学んでいる市民の割合*1	12.4%	32.8%	32.8% (R元データ)	30.0% (R元修正)	△
河川水質調査項目数*2	3件 (R2)	9件	3件	3件 (R2修正)	×

*1 尾張旭市第五次総合計画の改定により長期目標値を修正

*2 矢田川の水質改善に伴い河川水質調査内容を見直したことにより基準値及び長期目標値を修正



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①プログラムの充実

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
環境教育・環境学習に関する情報提供・啓発に努めます。	市広報やホームページ、チラシの配布などを通じて環境教育・環境学習に関する情報を提供しました。
市民 行政や市民団体の行う環境教育・環境学習への積極的な参加に努めます。	市民が、市主催の各種環境講座に参加して、関連する知識や理解を深めました。

②総合的・体系的に推進する体制づくり

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
環境教育・環境学習を総合的・体系的に推進する体制の整備に努めます。	愛知県事業を活かした「ストップ温暖化教室」など、環境教育に関する講座を積極的に周知しました。

③活動に対する支援

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
活動に必要な資材の提供、講師の派遣など、活動団体の支援に努めます。	市民活動支援センター登録の市民団体が会議室や印刷機器を利用できるようにしています。
市民 事業者や市が開催する環境関連イベントに積極的に参加します。	市民が、市民団体主催の「古着・端切れリユース祭」に参加しました。
事業者 地域の環境保全活動や環境関連イベント等に積極的に参加・協力します。	市内事業所の従業者等が、市民団体主催の「矢田川一斉クリーン大作戦」に参加しました。

④活動への参加促進

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
活動団体の環境保全に関する情報を収集・整理し、市民への提供・啓発に努めます。	市民団体が発行する資料やチラシを、公共施設で掲示又は配布しました。

⑤収集・分析

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
河川の水質調査や工場の排水調査を継続的に実施し、水質汚濁状況を把握します。	河川水質調査（2か所×12回）及び工場排水調査（1施設）を実施し、水質汚濁状況の把握に努めました。
市民 家庭版環境ISOに取り組み、家庭でのエネルギー使用量等の把握に努めます。	市民が、家庭版環境ISO事業や、簡易版であるCO ₂ CO ₂ （コツコツ）ダイエットプラン事業に参加しました。

⑥発信・活用

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
環境情報を積極的に発信し、市民の意識高揚につなげます。	本市の環境関連情報を、愛知県が開催するAELネット環境学習スタンプラリーのWEBサイトを通じて発信しました。



⑤収集・分析
～CO₂CO₂（コツコツ）ダイエットプラン



⑥発信・活用
AELネット環境学習スタンプラリー

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことから

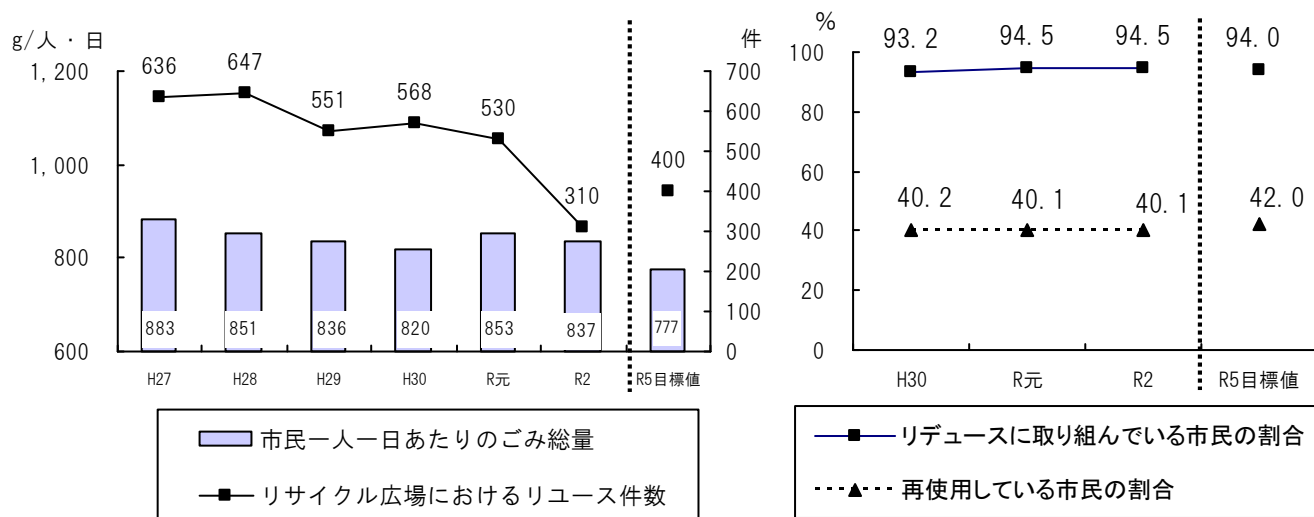
みんなの取り組み区分	内容
①プログラムの充実	新たな環境学習機会の提供
③活動に対する支援	活動状況の情報交換機会の創出
④活動への参加促進	活動への参加募集方法の検討
⑥発信・活用	環境情報の積極的な発信

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

施策2-1 ごみを減らす

指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
市民一人一日あたりのごみ総量*	921 g / 人・日	853 g / 人・日	837 g / 人・日	777 g / 人・日 (R元修正)	○
リサイクル広場におけるリユース件数	129件	530件	310件	400件	×
再使用している市民の割合	38.3%	40.1%	40.1% (R元データ)	42.0%	△
ごみの発生抑制(リデュース)に取り組んでいる市民の割合*1	91.9%	94.5%	94.5% (R元データ)	94.0% (R元修正)	△

* 尾張旭市第五次総合計画の改定により長期目標値を修正

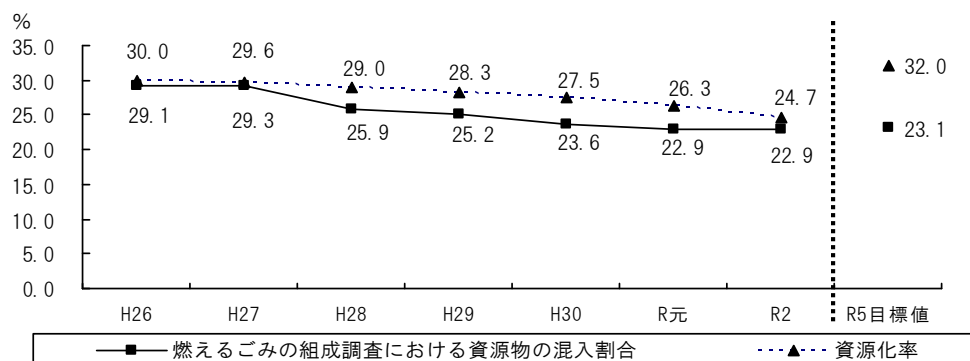


施策2-2 ごみを生かす

指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合*1	30.5%	22.9%	22.9% (R元データ)	23.1% (R元修正)	△
資源化率*2	30.0%	26.3%	24.7%	32.0%	×

*1 尾張旭市第五次総合計画の改定により長期目標値を修正

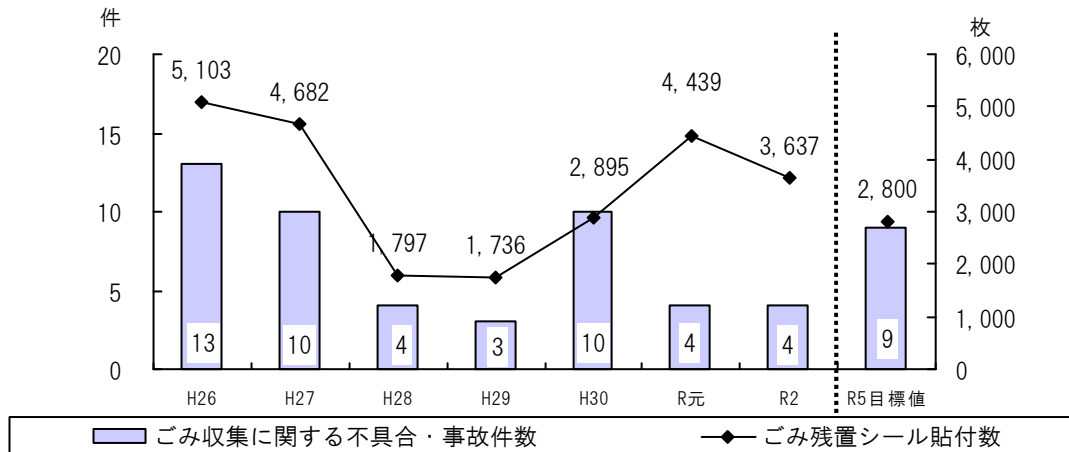
*2 資源化率 = 資源ごみ総量 ÷ (可燃ごみ総量 + 不燃ごみ総量 + 資源ごみ総量) 【全て家庭系ごみ】



施策2-3 ごみを適正に処理する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
ごみ収集に関する不具合・事故件数	15件	4件	4件	9件	△
ごみ残置シール貼付数*	4,662枚	4,439枚	3,637枚	2,800枚 (R元修正)	○

* 尾張旭市第五次総合計画の改定により長期目標値を修正



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①ごみを出さない意識づくり

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
燃えるごみの排出量に応じた費用負担を検討します。	さらなるごみの減量に向けた周知啓発を行うとともに、近隣市のごみ有料化の動向に注視し、情報共有を図りました。
再使用を推進するためリサイクル広場の再利用品広場を拡充します。	リサイクルひろばクルクルの移転に伴い、リユース事業は民間主体で広く進められている現状を踏まえ、内容を縮小しました。(新)

②わかりやすい情報提供

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
小・中学生に対してごみに関する学習の機会を提供します。	小学校4年生の社会科で生活排水がどのようにきれいになるか学びました。
市民団体 ごみに関する学習機会に積極的に参加します。	資源ごみ回収団体などが、雑がみ分別DVDなどでごみ分別について学びました。

③事業系ごみ減量対策

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
事業系ごみの実態を把握するため調査を実施します。	市民からの情報により、事業所から排出されるごみの実態把握や現地確認を行っています。

④新たな資源化

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
市民 生ごみ処理機の活用や生ごみの堆肥化に努めます。	市民が、生ごみ処理機等購入費補助制度を活用したほか、講座などを通して生ごみの堆肥化を学び、有効利用を進めました。

⑤仕組みづくりによる資源化の推進

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
市民にとって便利なりサイクルステーションを設置します。	令和3年3月から市役所南側にリサイクルひろばクルクルを移転し、資源ごみの回収を行っています。(新)
家庭における生ごみの減量や堆肥化を進めます。	生ごみ処理機等購入補助金制度の上限額の見直しを行いました。

⑥地域力を生かした資源化の推進

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
資源ごみ回収団体活動奨励金制度の実効性を高めます。	広報に制度の記事を掲載するとともに、前年度登録団体に登録案内をしました。

⑦事業者による資源化の推進

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
買った店に使い終えた容器を戻す仕組みを広げます。	市内小売店で行っている資源回収の情報を市ホームページに掲載し、市民に情報提供しています。

⑧安全に処理するための分別

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
消火器、バッテリー、プロパンボンベ等を販売店で適正処理するよう呼びかけます。	充電式電池の回収場所を拡充しました。

⑨効率的な収集と処理

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
地域と連携し、ごみ集積所の配置や管理のあり方を検討します。	新型コロナウイルス感染症対策のため、ごみの散乱を防止する「折りたたみ式ごみボックス」を希望する地区に貸与し、モニター調査を実施しました。(新)
プラスチックごみの処理のあり方について検討します。	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の施行に向けて、プラスチック使用製品廃棄物(製品プラ)の分別回収に関する情報収集を行っています。
効率的なごみの収集運搬体制を整えます。	「ごみ収集運搬業務適正化計画」を変更し、変更後の計画に従って適正な人員を配置しました。(新)

⑩仕組みづくり

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
あさひ訪問収集を地域と連携した制度へ拡充します。	市広報及び全戸配布チラシ「ごみの出し方」に記事を掲載し、周知を図りました。



⑤仕組みづくりによる資源化の推進
～リサイクルひろばぐるぐる



⑦安全に処理するための分別
～充電式電池回収ボックス

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことから

みんなの取り組み区分	内容
③事業系ごみ減量対策	商工会等と連携した事業系ごみの処理に関する啓発
⑥地域力を生かした資源化の推進	自治会等との連携による生ごみ堆肥化のモデル事業
⑦事業者による資源化の推進	買った店に使い終えた容器を戻す仕組みの拡大

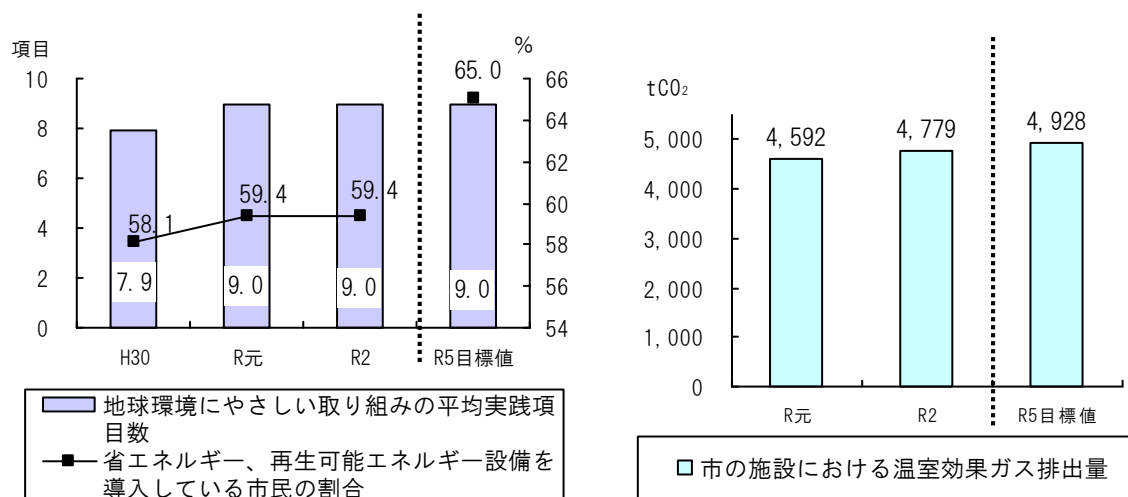
1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

施策3-1 二酸化炭素（CO₂）排出量を削減する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合*1	19.0%	59.4%	59.4% (R元データ)	65.0% (R元修正)	△
地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数	7.2項目	9.0項目	9.0項目 (R元データ)	9.0項目	△
市の施設における温室効果ガス排出量*2	5,206t-CO ₂ (H27)	4,592t-CO ₂	4,779t-CO ₂	4,928t-CO ₂ (H29修正)	×

*1 尾張旭市第五次総合計画の改定により長期目標値を修正

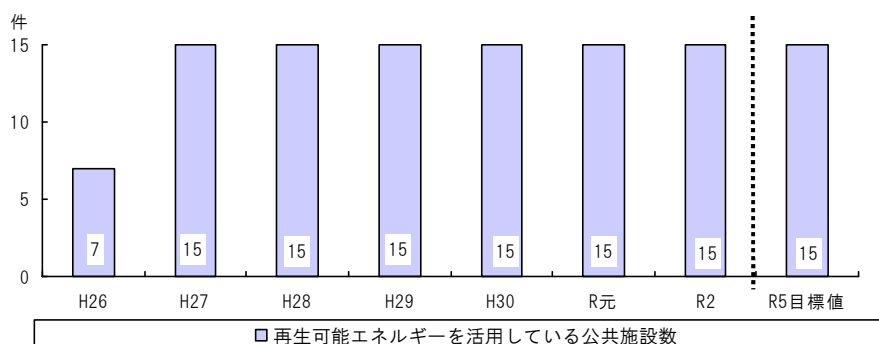
*2 平成29年度より、尾張旭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく基準値（平成27年度実績）及び長期目標値へ修正



施策3-2 再生可能エネルギーを利用する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
再生可能エネルギーを活用している公共施設数	6件	15件	15件	15件	△
地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数 再掲	7.2項目	9.0項目	9.0項目 (R元データ)	9.0項目	△
省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合* 再掲	19.0%	59.4%	59.4% (R元データ)	65.0% (R元修正)	△

* 尾張旭市第五次総合計画の改定により長期目標値を修正



施策3-3 地球規模の環境問題に取り組む

指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数 再掲	7.2項目	9.0項目	9.0項目 (R元データ)	9.0項目	△

2 主な「みんなの取り組み」の状況

①省エネルギー化の推進

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
市内全ての公共施設で緑のカーテン事業を実施します。	公民館、保育園、小・中学校など公共施設で、緑のカーテン事業を行いました。
市民 家庭用燃料電池等の省エネルギー機器を導入します。	市民が、市の補助金を活用し、家庭用燃料電池等の地球温暖化対策設備を導入しました。

②自動車による環境負荷低減

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
公共交通網の充実に努めます。	市営バスに車いす対応車両を導入し、事前予約方式による運行を開始しました。
駅・駅周辺施設を充実させ、公共交通の利用を促進します。	名鉄三郷駅の駅前広場を含めた駅周辺の整備に向けて都市計画決定を行い、告示しました。

③その他【施策3-1】

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
CO2の吸収源として、緑地の適切な保全に努めます。	公園、緑地の維持管理を適切に行い、緑の保全に努めました。
市民 緑のカーテンに取り組めます。	市民が、自宅で育成した緑のカーテンを撮影し、市主催の「緑のカーテンの写真募集」事業に応募しました。
事業者 地球環境問題に関心を持ち、事業活動における温暖化対策、省エネルギーなどに努めます。	市内事業者が、自社の環境に対する取り組みを紹介するなど市と情報交換を行いました。(新)

④再生可能エネルギーの普及、導入促進

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
公共施設への太陽光発電等の再生可能エネルギー設備の導入を進めます。	発電事業者への上水道施設貸出しにより、マイクロ水力発電設備を導入します。(R4年4月稼働開始予定)

⑤水循環

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
雨水利用や節水など、水の有効利用を普及啓発します。	水の大切さに対する関心を高めてもらうことを目的として、水に関する標語を募集し、優秀作品の発表をしました。
雨水を地下浸透させる透水性舗装の整備を促進します。	歩道部において修繕及び工事等、舗装工事を行う際に透水性舗装の整備を行いました。

⑥オゾン層保護

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
オゾン層の保護など、地球規模の環境問題に対する意識啓発を推進します。	市内公共施設における、フロン発生施設の保有量及び漏えい量を把握するため調査をしました。

⑦その他【施策3-3】

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
市民 地球環境問題に関する情報を収集し、正しい知識を身につけます。	市民が、市主催の各種環境講座に参加して、関連する知識や理解を深めました。



①省エネルギー化の推進
～公共施設で実施した緑のカーテン



②自動車による環境負荷低減
～市営バスの車いす対応車両

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことがら

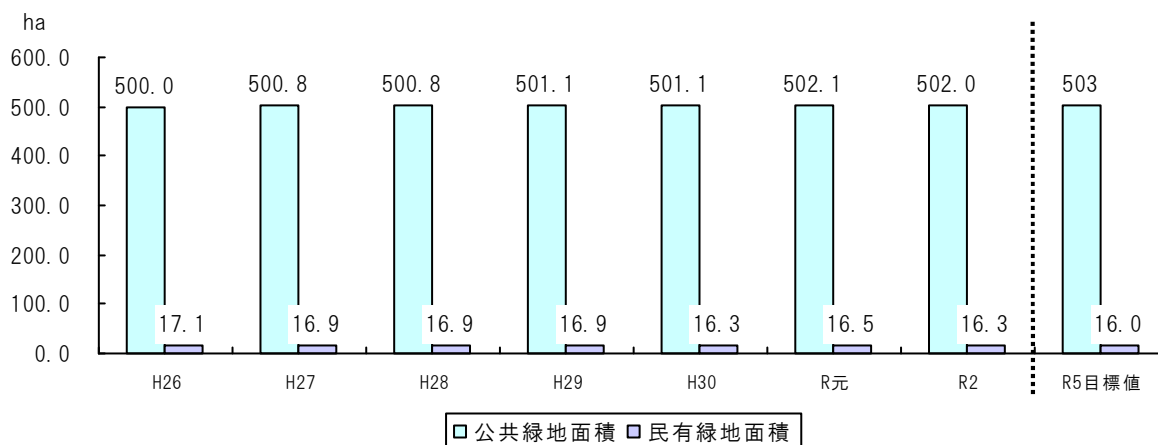
みんなの取り組み区分	内容
③その他	温室効果ガスの排出削減のための計画的な施策の実施
④再生可能エネルギーの普及、導入促進	太陽光発電など、自然エネルギーの利用促進
⑥オゾン層保護	フロン回収に係る啓発の実施

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

施策4-1 緑と水辺を守りつなげる

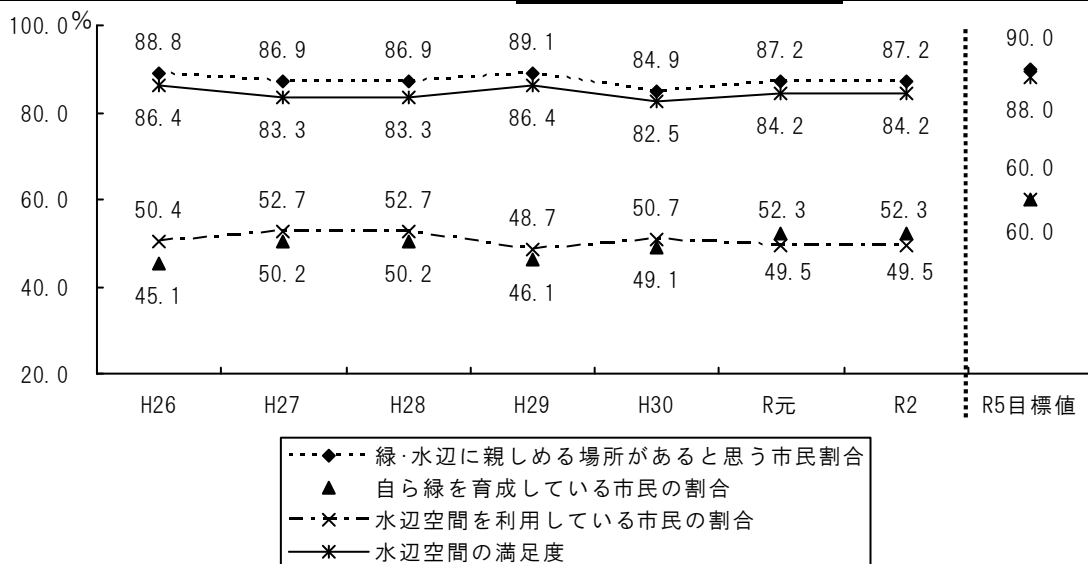
指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
公共緑地面積	499.3ha	502.1ha	502.0ha	503.0ha	△
民有緑地面積	17.4ha	16.5ha	16.3ha	16.0ha	×
農業振興地域における農地面積*	110ha	106.3ha	105.5ha	92ha (R元修正)	△

* 尾張旭市第五次総合計画の改定により長期目標値を修正



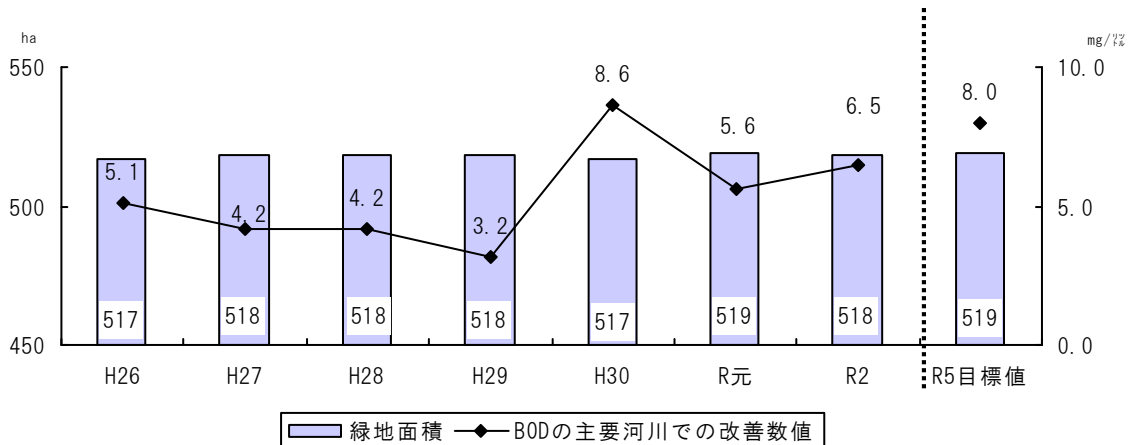
施策4-2 緑と水辺を育みふれあう

指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
緑・水辺に親しめる場所があると思う市民割合	87.3%	87.2%	87.2% (R元データ)	90.0%	△
自ら緑を育成している市民の割合	52.0%	52.3%	52.3% (R元データ)	60.0%	△
水辺空間を利用している市民の割合	54.7%	49.5%	49.5% (R元データ)	60.0%	△
水辺空間の満足度	84.3%	84.2%	84.2% (R元データ)	88.0%	△
新たに生み出された緑の箇所数	10箇所	3箇所	7箇所	10箇所	○



施策4-3 動植物に配慮する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
緑地面積	517ha	519ha	518ha	519ha	△
BODの主要河川での改善数値	6.4mg/ℓ	5.6mg/ℓ	6.5mg/ℓ	8.0mg/ℓ 以下	△
環境保全活動等に参加している市民団体数 再掲	26団体	24団体	26団体	30団体	○
環境保全分野のボランティアをしている市民の割合 再掲	4.4%	4.5%	4.5% (R元データ)	7.0%	△



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①緑地の保全

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
緑地や保存樹等の保全に努めます。	市指定文化財「長池のマメナシ・アイナシ自生地」について、令和2年11月～12月に開催された名鉄ハイキングのコースに設定し、自生地前にマメナシ・アイナシの実を展示しました。
市民 市民参加による自然環境調査や観察会、保護活動に積極的に参加、協力します。	市民団体による自然観察会が行われ、緑地保全への理解を深めました。

②農地の保全

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
市民 農業体験を通して農業への理解を深めます。	市民が、「田んぼイルミネーション」事業に参加し、農業への理解を深めました。(R2年度で終了)
事業者 水田など農地の多面的機能を認識し、健全な農業活動によってその機能を維持するよう努めます。	JAあいち尾東が、城前町の休耕田で景観形成作物であるコスモスを栽培しました。

③水辺の保全

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
生態系に配慮しつつ、親水公園化や遊歩道の設置に努めます。	矢田川河川緑地の自転車道整備を行いました。
市民や事業者などの協力を得て、水辺とのふれあいの場の確保・整備に努めます。	市民団体が開催した山辺の散歩道の自然観察会を支援しました。

④まちの緑化

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
家庭や事業所の緑化を促進します。	城山ふれあい農園にひまわりを栽培しました。(新)

⑤ふれあいの機会の充実

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
校庭の緑化スペースや学校ビオトープ空間等を保全活用します。を推進します。	旭小学校のビオトープを利用し、1・2年の生活科で「生きものの世話」、3・6年の理科で「植物・動物のしくみ」、5年の総合的な学習の時間で「稲作」について学びました。

⑥生物多様性の保全

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
市内の自然環境の分布や動植物の生息・生育状況に関する実態調査を行い、その保全方法について調査研究を行います。	自然環境基礎調査事務に着手しました。
吉賀池湿地の一般公開を開催し、自然環境保全意識の高揚につなげていきます。	一般公開を春、初夏、夏、秋、中秋、晩秋の年6回実施し、自然環境保全意識の高揚に努めました。
市民 市内に生息・生育する動植物に関心を持ち、動植物を大切にします。	市民が、市制50周年記念事業として開催された野生生物再発見事業に参加し、市内の野生生物の写真を撮影し、事業に応募しました。(新)

⑦外来種対策

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
市民 良好な生態系を保全するため、外来生物などを自然に放さないようにします。	アライグマ等特定外来生物の目撃情報がある場所においては土地の所有者に捕獲檻を貸し出し、駆除に努めました。



①緑地の保全
～市内のマメナシ



②農地の保全
～景観形成作物の栽培

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことから

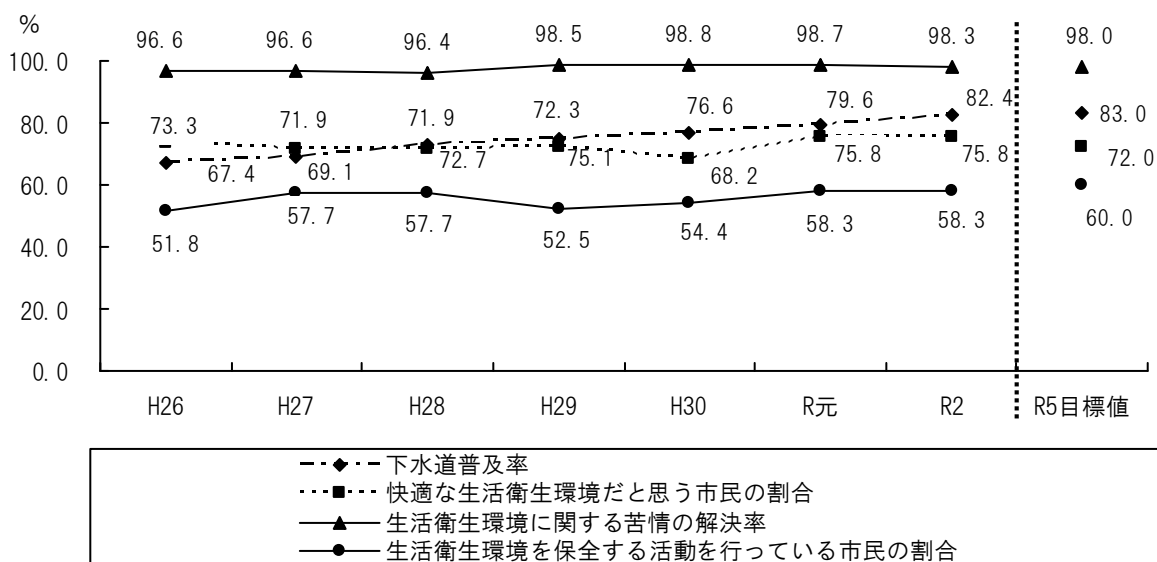
みんなの取り組み区分	内容
④まちの緑化	事業所敷地内の緑化の促進
⑤ふれあいの機会の充実	自然とのふれあいや自然の大切さを学習する機会の提供
⑦外来種対策	外来生物対策に係る情報を発信

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

施策5-1 安全で健康な暮らしを守る

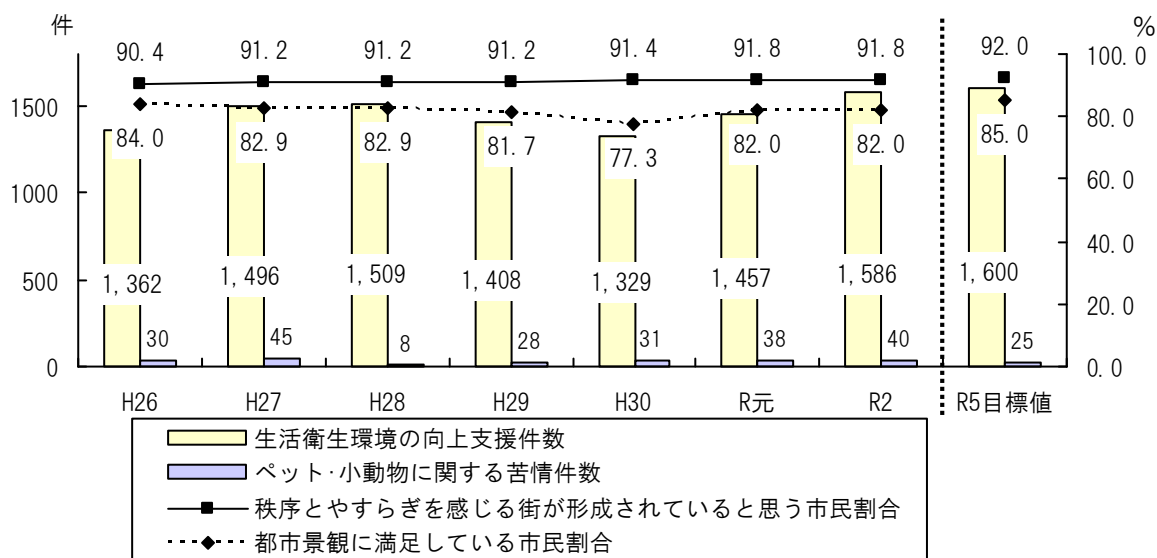
指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
下水道普及率	63.7%	79.6%	82.4%	83.0%	○
快適な生活衛生環境だと思う市民の割合	69.5%	75.8%	75.8% (R元データ)	72.0%	△
生活衛生環境に関する苦情の解決率*	96.6%	98.7%	98.3% (R元修正)	98.0%	△
生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合	59.5%	58.3%	58.3% (R元データ)	60.0%	△
BODの主要河川での改善数値再掲	6.4mg/ℓ	5.6mg/ℓ	6.5mg/ℓ	8.0mg/ℓ以下	△
水質を維持しているため池数	4箇所	5箇所	5箇所	7箇所	△

* 尾張旭市第五次総合計画の改定により長期目標値を修正



施策5-2 快適でゆとりある都市空間をつくる

指標名	基準値 (H24)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	長期目標値 (R5)	対前年度
生活衛生環境の向上支援件数	1,599件	1,457件	1,586件	1,600件	○
ペット・小動物に関する苦情件数	22件	38件	40件	25件	△
秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合	90.2%	91.8%	91.8% (R元データ)	92.0%	△
都市景観に満足している市民割合	82.4%	82.0%	82.0% (R元データ)	85.0%	△
生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合再掲	59.5%	58.3%	58.3% (R元データ)	60.0%	△



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①水・土の汚染対策

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
公共下水道整備を推進します。	平子町、東大道町、南原山町、新居町、北山町、西大道町、北原山土地区画整理事業地内の汚水管渠の整備を進めました。
公共下水道への接続や合併処理浄化槽の普及促進及び適正管理の啓発に努めます。	市広報への記事の掲載や、浄化センターの施設見学、商業施設での啓発物の展示など普及啓発を行いました。
事業者 工場排水に関する情報提供を行うなど、地域からの要望に対応します。	市内の工場が、市が実施する工場排水調査（全リン、全窒素など8項目）に協力しました。

②大気汚染、騒音・振動の防止

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
駅・駅周辺施設を充実させ、公共交通の利用を促進します。	駅周辺の自転車等駐車場利用について、HP、広報で周知し有効利用に努めました。

③有害物質、その他公害への対応

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
浄化槽の適正管理の啓発に努めます。	浄化槽の適正な維持管理について、広報記事に掲載し、周知を図りました。

④良好な生活環境づくり

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
歩行空間の整備や維持管理のほか、自転車走行空間の整備を推進します。	市道巡検道線自転車道整備工事の実施設計を行い、自転車走行空間整備に必要な図面等を作成します。
公共施設や駅及び駅周辺のバリアフリー化を推進します。	旭平和墓園バリアフリー化整備工事の実施設計を行い、バリアフリー化に必要な図面等を作成します。
公共施設や駅及び駅周辺のバリアフリー化を推進します。	印場駅自由通路南側エレベーター設置工事の実施設計を行い、バリアフリー化に必要な図面等を作成します。

⑤環境美化

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
空き地や空き家の雑草管理の徹底を図ります。	尾張旭市火災予防条例第24条第1項（空地の管理）に基づき現地調査を行い、所有者に書面で刈取りの依頼及び指導を行いました。
事業者 清掃活動などの地域活動に協力します。	市内事業所の従業者等が、市民団体主催の「矢田川一斉クリーン大作戦」に参加しました。

⑥ マナーの向上

みんなの取り組み内容	令和2年度の取り組み・令和3年度の予定
放置自転車、放置自動車、違法駐車防止に努めます。	各季に実施する交通安全市民運動の際に放置自転車等の防止について啓発を実施しました。また、各自転車等駐車場において、放置されていると思われる自転車等へ警告札を取り付け、放置防止に努めました。
動物飼育マナーや犬、猫などのふん害防止のための啓発に努めます。	ラミネート看板、イエローチョークの配布及び猫侵入被害軽減装置を貸し出しました。
市民 「地域ねこ活動」に協力し、飼い主のいない猫を減らします。	市民が、「地域ねこ活動」に賛同して同活動に登録し、避妊去勢手術やトイレの清掃等を実施して、野良猫の適切な管理へとつなげました。



⑤環境美化
～矢田川一斉クリーン大作戦



⑥マナーの向上
～猫侵入被害軽減装置

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことがら

みんなの取り組み区分	内容
④良好な生活環境づくり	地域の歴史や文化を生かした都市空間の形成
⑤環境美化	環境美化意識の浸透
⑥マナーの向上	不法投棄、ポイ捨ての防止対策

皆さんの御意見・御感想をお寄せください！アイデア募集！

尾張旭市では、市民・市民団体、事業者の皆さんからの声を環境行政に反映させていただくため、この環境基本計画年次報告書の内容について、意見・感想を募集しています。

それぞれの取り組みが、より良い方向に進めるようなアイデア、感想、チョット言いたいんだけど・・・といったこと、また、年次報告書の内容全般について等、何でも構いません。

1 意見等の締切日

令和4年2月3日（木）

2 意見等の提出先及び提出方法

(1) 提出先

尾張旭市役所 環境課

(2) 提出方法

ア 郵送の場合

〒488-8666 尾張旭市東大道町原田2600番地1

（住所は書かなくても届きます。）

イ F A Xの場合

0561-52-0831

ウ 電子メールの場合

kankyou@city.owariasahi.lg.jp

※ 様式は自由です。なお、最終頁に参考様式を掲載していますので、御利用ください。また、意見等を提出の際には必ず住所・氏名・年齢を御記入ください。なお、電話での意見は受け付けませんので御了承ください。

※ お寄せいただいた意見等は、翌年度の年次報告書作成の参考にさせていただくとともに、その意見に対する市の考え方について、ホームページなどでの公表を予定しています（住所、氏名等は公表しません。）。

※ 御記入いただいた個人情報については、意見等の取りまとめ以外の目的には使用しません。

3 問い合わせ先

尾張旭市役所 環境課環境施策係 TEL：0561-76-8134（直通）

(参考様式)

「令和3年度 環境基本計画年次報告書」に関する意見等記入シート

氏名		年齢	
住所			

キ
リ
ト
リ

- ※ お寄せいただいた意見等は、翌年度の年次報告書作成の参考にさせていただくとともに、その意見に対する市の考え方について、ホームページなどでの公表を予定しています（住所、氏名等は公表しません。）。
- ※ 御記入いただいた個人情報については、意見等の取りまとめ以外の目的には使用しません。

提出先…尾張旭市役所 環境課

▽郵送の場合：〒488-8666

尾張旭市東大道町原田2600番地1（住所は書かなくても届きます。）

▽FAXの場合：0561-52-0831

▽電子メールの場合：kankyou@city.owariasahi.lg.jp